DX推進計画策定支援事業　申請方法・申請事項

早稲田大学を代表校とする

「スマートエスイーIoT/AI石川スクール」

運営コンソーシアム

下記の申請事項を**申請フォームで回答（入力、送信）をお願いいたします。**

申請フォーム：<https://forms.gle/D3FzE7yFnmKux8Kw6>

※本紙の提出は不要です。回答の際の参考にご使用ください。

申請事項一覧

＜申請フォームで回答する事項＞

（１）申請者の詳細

（２）申請にあたっての注意事項への同意

（３）本事業で達成したいこと

　（４）ＤＸ自己診断書

＜申請後、後日提出＞
（５）会社および主な事業の概要がわかるもの（パンフレット等）

※事務局より追ってご連絡いたしますので、提出方法等ご相談させてください。

（１）申請者の詳細

○企業情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業者名 | 　 | 代表者名 | （役職）　　（氏名）　　（年齢）　　　　歳 |
| 所在地 |  |
| 創業年 | 　 | 資本金 | 　　　　　　　　千円 |
| 業種 | 　 | 従業員数 | （役員）　　　　　　　 人（正社員）　　　　　　　 人（パート・アルバイト）　　　　　人（合計）　　　　　　 人 |
| 売上高（年商） |  |
| 売上構成 | 事業（取扱品目）内容 | 売上構成 |
|  | ％ |
|  | ％ |
|  | ％ |
|  | ％ |
| 事業の概要（主な商品やサービス） |  |
| 事業責任者※1 | 部署名・役職 |  |
| 氏名 |  |
| 勤務先住所 | 〒 |
| ＴＥＬ |  |
| メールアドレス |  |
| 連絡担当者※2 | 部署名・役職 |  |
| 氏名 |  |
| 勤務先住所 |  |
| ＴＥＬ | 〒 |
| メールアドレス |  |

※１　事業責任者欄には、本事業を進めるにあたっての責任者を記載ください。

想定例：社長、専務、部長、CDOなど

※２　連絡担当者欄に記載いただいた方に、日程調整や書類関係など、事務的な連絡をいたします。

（２）申請にあたっての注意事項

申請にあたっては、以下の事項に同意いただきます。

○本事業の目的は、貴社の経営層を含むチームでの取り組みに伴走支援する形で、企業の競争力強化に向けたDX推進計画を策定するものです。

本事業の目的にご理解いただき、経営層の主要な回（経営理念、ミッション確認、社内報告会）への参加をお願いします。

○計画策定後、取組の事例発表に協力をお願いします。

　　※R8.2月下旬に発表会を予定しています。

　　※事例発表の形式や、発表内容については協議のうえ決定していきます。

（社内の機微な情報には触れないようにするなど配慮いたします。）

（３）本事業で達成したいこと

以下設問について回答をお願いします。

支援を希望したきっかけや、期待することについて教えてください

※自由記載、回答必須

DX推進計画策定を通じて、実現したい企業の姿やビジネスモデルについて教えてください。

※自由記載、回答必須

（４）ＤＸ自己診断書

■以下の設問にご回答いただく中で、ＤＸの推進に向けた御社の現状を把握いただくことが目的です。

■設問は２０問です。選択肢から最も近いものを回答してください。

■理想の回答をすることが目的ではございませんので、**実情に近い選択肢を選択してください**。

**【トップマネジメント】　※経営層のお考えを回答して下さい**

**設問１：経営理念や経営ビジョンは社内に浸透されていますか**

回　答：① 社内に対して浸透させる仕組みがあり、社員も理解している

　　　　② 社内に対して浸透させる仕組みはあるが、社員はあまり理解していない

　　　　③ 経営理念や経営ビジョンはあるが、社員に浸透させる仕組みはない

　　　　④ 経営理念や経営ビジョンは決まっていない

**設問２：経営者がＤＸ（デジタル変革）の定義についてきちんと理解されていますか**

**※ＤＸの定義
企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること**

回　答：①「競争上優位性を確立させて変革すること」と理解している

　　　　②「競争上優位性を確立させて変革すること」と思うがよくわかっていない

　　　　③「生産性を向上させる」「高度なデジタル化」と理解している

　　　　④ わかっていない

**設問３：ＤＸを推進する目的や目標を具体的に示していますか**

回　答：① 具体的な目的と目標を決めて社内に示している

　　　　② 目的と目標を決めて社内に示しているがあまり具体的ではない

　　　　③ 目的や目標はあるが社内に示していない

　　　　④ 示していない

**設問４：ＤＸを推進する責任者（デジタル変革を推し進められる人）はどなたですか**

回　答：① 社長など経営者

　　　　② 部長など管理職

　　　　③ 一般社員

　　　　④ 今はいない

**【変革や顧客視点の企業文化】**

**設問５：業界や顧客などの外部環境の変化にどのように対応していますか**

**※業界の中で価格重視からサービス重視への変化、材料価格高騰や人材不足などの変化に組織**

**として素早い対応が取れるかが重要です。**

回　答：① 外部環境変化に対して部署毎の役割を決めるなど組織だった対応ができている

　　　　② 外部環境変化に対してその時々の対応が場当たり的である

　　　　③ 外部の環境変化を感じることはあっても社内での対応ができていない

　　　　④ 外部の環境変化を意識したことはない

**設問６：製品やサービスを開発する場合や、顧客からの要望対応の場合などに顧客視点の考えは**

**ありますか**

回　答：① ほとんどの社員が顧客視点を第一に考え行動している

　　　　② 顧客視点を第一優先に考えられるのは経営層と一部の人だけである

　　　　③ 顧客視点を第一優先に考えられるのは経営層だけである

　　　　④ 顧客視点の考え方はできていない

**設問７：社内で新たな取り組みを行う場合はどのように進めていますか**

回　答：① 小さい成功を得られるように仮説と検証を繰り返しながら進めている

　　　　② しっかりとした計画を立てて進め、成果を確認している

　　　　③ しっかりとした計画を立て進めているが、計画倒れになることもある

　　　　④ 新たな取り組みはほとんどない

**設問８：目標達成型（バックキャスト）の取り組みは実施していますか**

回　答：① 定量的な目標を立て目標達成型の取り組みを実施している

　　　　② 目標達成型の取り組みは実施しているが具体的な目標を示せないことがある

　　　　③ 目標達成型の取り組みは計画するが、色々な理由で実施したことが少ない

　　　　④ 目標達成型の取り組みは実施したことがない

**【組織力や管理体制】**

**設問９：社内での業務改革や業務改善をどのように実施していますか**

回　答：① 業務改革や業務改善の活動を全社横断的に実施している

　　　　② 業務改革や業務改善は担当者で実施されることが多い

　　　　③ 業務改革や業務改善の活動は中途半端となり結果が出ないことが多い

　　　　④ 業務改革や業務改善の活動はほとんど行われない

**設問10：社内横断的な活動をする場合、その活動の進捗状況を共有するような仕組みはありますか**

回　答：① 社内横断的な活動に関しては定期的な進捗報告会などを実施している

　　　　② 社内横断的な活動は行なっているが共有する仕組みは場当たり的である

　　　　③ 社内横断的な活動は行なっているが共有する仕組みはない

　　　　④ 社内横断的な活動を行なっていない

**設問11：社内全体の業務内容（製造業であれば受注から出荷等の業務）を理解している人材はいますか**

回　 答：① 細かい業務内容を把握している人材がいる

　　　　 ② 概略程度で業務内容を把握している人材がいる

　　　　 ③ 各部署や業務単位で把握している人はいる

　　　　 ④ ほとんどいない

**設問12：ＤＸを推進する社内管理者（計画に沿った人やスケジュールの管理）はどなたですか**

回 　答：① 社長など経営者または部長などの管理者

　　　　 ② DXを推進する業務に詳しい一般社員

　　　　 ③ デジタルに詳しい一般社員

　　　　 ④ 今はいない

**【デジタル基盤】**

**設問13：社内のデジタル化の状況を教えて下さい**

回　 答：① 社内のほとんどの業務がデジタル化されており全てのデータが繋がっている

　　　　 ② 部署や業務で差があるが、ある程度デジタル化はされている

　　　　 ③ Excelなどで電子化している業務はある

　　　　 ④ ほとんどが紙や人による運用である

**設問14：クラウドやパッケージソフトの導入状況について教えて下さい**

回　 答：① 必要に応じてクラウドやパッケージを導入し活用している

　　　 　② クラウドやパッケージは導入しているが活用できていない

　　　 　③ クラウドやパッケージを導入してみたいがどこから始めて良いかわからない

　　　 　④ クラウドやパッケージはほとんど使っていない

**設問15：セキュリティに対する認識や対応状況を教えて下さい**

**※デジタル基盤としてセキュリティも重要で、組織が情報化リスクに備える必要があります。**

回　 答：① セキュリティに対するガイドラインなどを設定し管理や実施をしている

　　　 　② ネットワークなどのセキュリティ対策は行なっているが社員教育はできていない

　　　 　③ アンチウィルスソフト導入など局所的な対応をしている

　　　 　④ セキュリティに関しては何も実施していない

**設問16：デジタルを活用できる人材、デジタルに精通している人材（様々なデジタルツールの特長を**

**知っており、調査や導入などを行える人材）はいますか**

回　 答：① 専用の人材が社内にいる

　　　 　② 必要に応じて活動できる兼用人材が社内にいる

　　　 　③ 社内にはおらず社外に頼っている

　　　 　④ 社内・社外にもいない

**【デジタル活用文化】**

**設問17：新しいデジタル技術を取り入れるような文化はありますか**

回 　答：① 新しいデジタル技術を調査や、必要に応じて取り入れる文化はある

　　 　　② 部署や業務で差はあるが、積極的にデジタル技術を取り入れている

　　 　　③ デジタルに慣れていない社員が多いなどの理由で新しい取り入れは消極的である

　　 　　④ デジタル技術を取り入れる文化がない

**設問18：経営や業務においてデータを活用していますか**

**※電子データは正確です。デジタルツールやシステムにより自動処理もできます。**

回 　答：① 経営面でデータによる判断や、業務間におけるデータ連携などで活用している

　　　　 ② 経営面や業務面で活用できるデータは保有しているが活用できていない

　　　　 ③ 経営面や業務面で活用できるデータは一部しか保有していない

　　　　 ④ 活用できるデータは保有していない

**設問19：業務上の課題が発覚した場合にデジタル化による解決策を検討していますか**

**※デジタルを使って解決できないかという思想はＤＸを推進する上で重要な考え方です。**

回　 答：① 様々なデジタル技術の特長を活かし解決策を検討している

　　　 　② なんとなく知っているデジタル技術で活用してみようと考えることはある

　　　 　③ デジタルによる解決の検討をしてみたいがどこから始めてよいかわからない

　　　 　④ デジタル化の解決策は考えたことがない

**設問20：新たなデジタルツール調査・導入や基幹システム改善に関する投資をどれくらいしていますか**

回　 答：① 年度で予算化して一定金額の投資をしている

　　　 　② 必要に応じて投資できる範囲内で投資をしている

　　　 　③ 壊れたものの修繕費用や保守にかかる投資のみしかしていない

　　　 　④ 一切投資をしていない

以上